

科目名	日中比較社会論特殊研究	担当者	タカツナ 高綱	ヒロフミ 博文	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	------------	------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講義では、上海における日本人コミュニティの150年の歴史を主要なテーマとするが、併せて日中関係への視座も構築することを目的とする。中国の改革・開放の最前線として未曾有の繁栄を誇る「国際都市」上海には、戦前最も多い時で約10万人の日本人が在留した。上海「共同租界」の一角には、虹口を中心とする日本人コミュニティが形成され、日本人居留民は中国社会のただ中に生活していた。本講義は戦前の上海日本人コミュニティの形成・発展・崩壊の歴史過程を中心に講述しながら、日中関係における「敵対」・「依存」・「相互理解」について歴史具体的な事例を通じて考察する。</p>		
到達目標	<p>本講義は、内山完造『花甲録』によって近代における日本人の中国体験及び中国認識を内在的に学び、またホワイトニング『中国人の日本観』によって日中関係に関する歴史認識を社会科学的に探求する方法を修得する。</p>		
学修方法	<p>前期：参考図書である『「国際都市」上海のなかの日本人』を参照の上で、『花甲録』を精読して内山完造の生きた時代背景と上海という都市環境への理解を深めながら学習する。</p> <p>後期：中国の新聞や雑誌などのメディアに直接に触れ、そこでは日本はどのように論じられているか。また、身近に中国の方がいれば彼らの日本観をインタビューしてみるなどして、ホワイトニングが提示したところの中国人の日本イメージを各自で検証することを試みる。</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材である内山完造『花甲録』を精読・検証して、前期レポート課題（1）（2）について9月中旬までにレポート提出する。</p> <p>後期：基本教材であるホワイトニング『中国人の日本観』を精読・検証して、後期レポート課題（1）（2）について1月課題提出締切日までにレポート提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	教材理解度 20%，論旨の一貫性 20%，要約力 20%，表現力 20%，解釈の妥当性 20%
	平常評価	%	
履修者への要望	<p>教材を学習してレポートを作成する際には、論文を作成するトレーニングであるとの自覚に基づき社会科学の方法論を積極的に修得しようとする熱意を持つことを要望する。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 内山完造 教材名： 『花甲録』（平凡社，2011年）ISBN:978-4-58-280807-0 3,300円+税
	本書は戦前の上海において内山書店を経営し、また日中友好と日中文化交流のかけ橋の役割を果たした内山完造の自伝であり、そして本書は上海日本人居留民社会史の最良のテキストである。
参考図書	高綱博文『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版，2009年）ISBN:978-4-87-636297-4 6,500円+税 岩間一弘・高綱博文等編『上海—都市生活の現代史』（風響社，2011年）ISBN:978-4-89-489653-6 1,800円+税
履修上のポイント	内山完造の自伝『花甲録』を、異文化社会としての中国社会と格闘した一人の日本人商人の記録として読むことができる。即ち、彼がどのように中国社会への理解を深め、多くの中国人の信頼を勝ち得て、中国でのビジネスに成功したのかについてテキストから読みとっていただきたい。
レポート課題 1	内山完造の中国社会認識とその変化について論述しなさい。 <b>留意点：</b> 『花甲録』を精読して先行研究とは異なる独自の論点を提示すること。
レポート課題 2	内山完造が上海で書店経営に成功した要因について考察しなさい。 <b>留意点：</b> 『花甲録』を精読して先行研究とは異なる独自の論点を提示すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： アレン S. ホワイティング 教材名： 『中国人の日本観』（岩波書店，2000年）ISBN:978-4-00-600013-4 1,365円+税
	本書はアメリカの中国研究の碩学であるホワイティングが日中両国の多くの人々との対話を通して、中国人の日本観とそれを規定する思考様式を分析したものである。
参考図書	毛里和子『日中関係』（岩波書店，2006年）ISBN:978-4-00-431021-1 800円+税 入江昭『日中関係 この百年』（岩波書店，1995年）ISBN:978-4-00-001712-1 2,330円+税
履修上のポイント	本書の特徴は、日中関係を第三者の目で分析したことにある。そして、中国における広範なインタビュー及び文献調査によって中国人の日本認識をできるかぎり明確にしようとしている。第三者から見た中国人の日本イメージを批判的に検討することを通じて、各自の日中関係への視座を構築することに努めること。
レポート課題 1	テキストに描かれた中国人の日本イメージを要約し、そのイメージの形成要因について考察すること。 <b>留意点：</b> ホワイティングが提示している論点を日本人の眼から検証すること。
レポート課題 2	テキストの分析を踏まえて日中関係が「歴史の負の遺産」から脱却する途について考察すること。 <b>留意点：</b> 現実の緊張する日中関係を踏まえて考察すること。